

遺伝子診療部の沿革

1996年「遺伝子診療相談室」開設

2001年「遺伝子診療部」発足

2013年「家族性腫瘍外来」設置

2016年「IRUD(未診断疾患イニシアチブ)」開始

チーム医療の実践

「遺伝子診療部アソシエイツ」全32診療科と連携

疾患領域単位で複数診療科とミーティング実施

「TSC(結節性硬化症)ボード」

「マルファン・ユニット(結合織疾患)」

「がんゲノムのエキスパートパネル」

「HBOC (遺伝性乳がん卵巣がん症候群)サブユニット」

「VHL(フォン・ヒッペル・リンドウ)病センター」

「膵臓ユニット」家族性膵癌登録の対応

「周産期カンファレンス」、「遺伝性消化管腫瘍サブユニット」など



遺伝診療部スタッフ紹介

医師



部長: 万代昌紀



副部長: 山田重人

非常勤医師



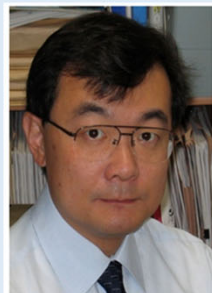
三宅秀彦



玉置知子



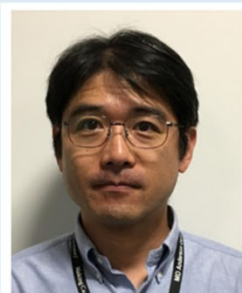
小杉真司



和田敬仁



中島健



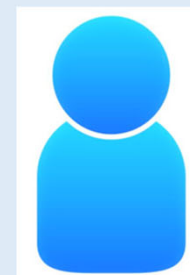
山田崇弘



岡野高之



川崎秀徳



岡 知美

認定遺伝カウンセラー



吉田晶子



鳥嶋雅子



本田明夏



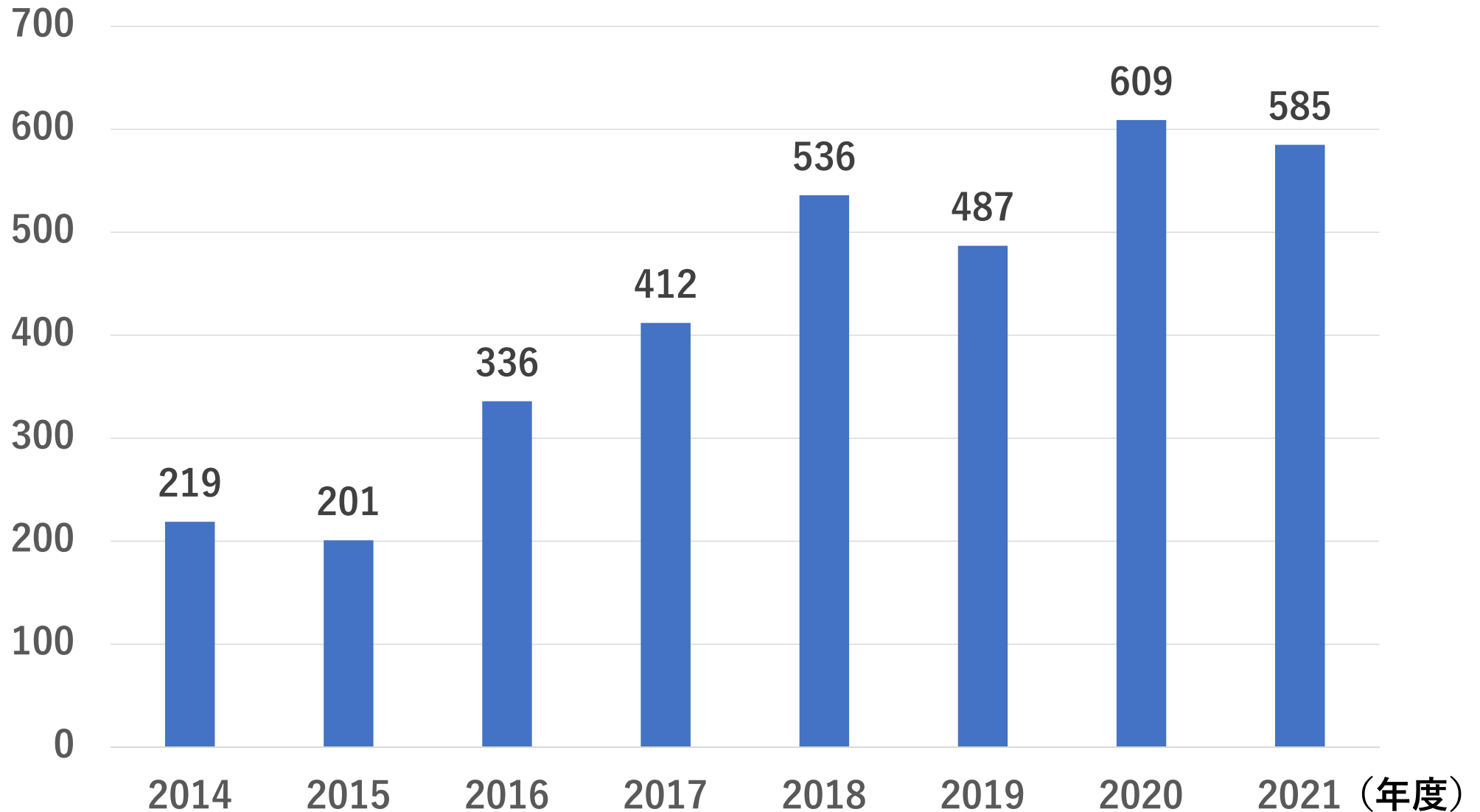
稲葉 慧



村上裕美

遺伝カウンセリング件数の推移

(件数)



こんなお悩みありませんか？

主治医に遺伝子検査を勧められたけど、良くわからなかった

家族にがんの人がいないのに、遺伝性といわれたのはなぜ？

身内にがんの人が多から、うちはがん家系？



赤ちゃんに染色体異常の可能性があるとされた。これからどうなるの…？

息子に婚約者を紹介された。実は遺伝病といわれる身内がいることを、伝えるべきか？

…そんな時に、ご相談ください！

遺伝カウンセリングは、遺伝に関わる悩みや不安のある方、そのご家族を含め、どなたでも利用できます。

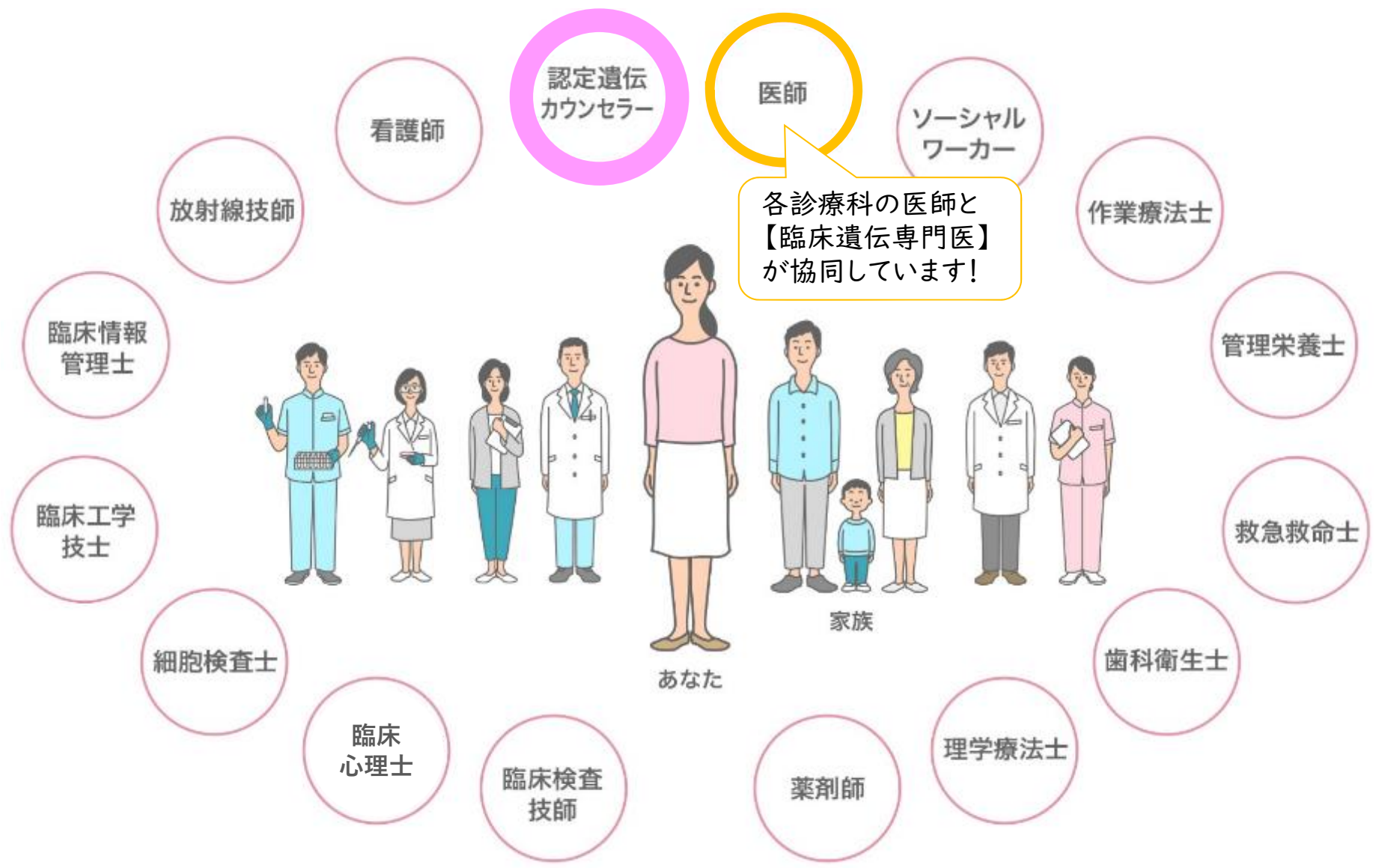
遺伝カウンセリングの流れ

家族性腫瘍の場合(一例)



臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーが、正確な医学的情報を分かりやすくお伝えした上で、ご自身の力で医療技術や情報を利用して問題を解決できるよう、心理・社会的な面も含めサポートいたします。

私たちはチーム医療の一員です!



予約の方法

外来受診の際や病棟などで、担当の先生とご相談のうえ、ご連絡いただくこともできます

電話:075-751-4350

受付:午後1時~4時30分まで(平日)

または

Web予約フォーム

→ご連絡いただいたのちに、電話で予約手続きを進めます

ご相談内容のお伺い

ご相談のきっかけ、ご家族のことなどお聞きします

日時、担当医の調整

内容に応じ、専門のスタッフ、来談日を調整します

予約日の決定

遺伝カウンセリング当日

スタッフ一同、お待ちしております!

*1週間以上たっても遺伝子診療部 (kyotocgu@gmail.com) からの連絡がない場合、左記、遺伝子診療部電話までお電話をお願いします(メールがはじかれている可能性があります。)

費用 (※健康保険は適用されません)

初診: 9,900円/60分+4,950円/30分毎

再診: 2,530円/15分毎

遠隔診療

PCやスマートフォンを活用した

遠隔遺伝カウンセリングも実施しています。

※「遺伝性のがん」に関しては、担当者限定でアプリでの利用も可能です(担当:中島健医師)(遺伝子診療部トップページ「ご予約・お問い合わせ先」参照)。

同伴者

ご家族なども一緒に来ていただけます

関連情報 | 遺伝医療の専門家を目指す方へ ①

臨床遺伝専門医

現在、遺伝学的診断（遺伝情報を調べる検査など）は、多くの診療科で通常の医療として取り扱われています。このため、全ての医師が、基本的な遺伝カウンセリングに対応出来ることが理想とされています。しかし、実際の遺伝に関わる問題の中には、対応が難しいものもあります。例えば、出生前診断や、これから自分が病気になるかを調べる発症前診断、自分自身は病気になりませんが次世代への影響を調べる保因者診断などです。これらの高度な遺伝カウンセリングに対応する医師が、日本遺伝カウンセリング学会と日本人類遺伝学会が共同で認定している、臨床遺伝専門医です。臨床遺伝専門医の一覧は、臨床遺伝専門医制度委員会のホームページでご覧いただけます。

(<http://www.jbmg.jp/>)

認定遺伝カウンセラー®

遺伝に関わる問題と向き合っていくうえでは、ご自身やご家族の病気や将来について、自分自身で考え、何らかの選択することが必要な様々な場面を経験します。遺伝子や染色体の検査を受けるかどうかについて考え、決めることはその場面の一つです。それらのような場面では、からだや遺伝に関する医学的なことだけでなく、それにまつわる心理的なこと、社会的なことについてもサポートが必要と感ずることがあるでしょう。そのような場合に、皆さまが直面する医学的、心理的、社会的な課題を整理したり、医療情報はもとより福祉や療育に関する情報（社会資源）について皆さまにお伝えしたりすることで、ご自身が納得のできる方針を立てることができるよう、臨床遺伝専門医と連携してサポートするのが、認定遺伝カウンセラー®です。

認定遺伝カウンセラー®は、日本遺伝カウンセリング学会と日本人類遺伝学会が共同で認定している遺伝医療の専門家です。

認定遺伝カウンセラー®の一覧は、認定遺伝カウンセラー制度委員会のホームページでご覧いただけます。

(<http://plaza.umin.ac.jp/~GC/>)

関連情報 Ⅰ

遺伝医療の専門家を目指す方へ ②

ゲノム医療を推進する次世代スーパードクターの育成プログラム NGSDプロジェクト 第2期

難病医療からがんゲノム医療まで横断的に活躍する臨床遺伝専門医を育てるOJT

NGSDプロジェクト HP <https://www.ngsd-project.jp/> より引用

臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラー®
次世代スーパードクターは、京都大学大学院や
京都大学医学部附属病院で学ぶことができます。
興味のある方、もっと詳しく知りたい方、
また、遺伝子診療部を見学してみたい方は、
以下の連絡先にアクセスしてください。

Eメール:kyotocgu@gmail.com
お電話:075-751-4350

お待ちしております!

関連情報 2 HP/SNS

ホームページ

- 京都大学医学部附属病院
遺伝子診療部



<https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/department/division/cgu.html>

- 京都大学大学院
遺伝カウンセラーコース



<http://sph.med.kyoto-u.ac.jp/gccrc/>

Facebook

- 京都大学大学院
遺伝カウンセラーコース



<https://www.facebook.com/kusphgcc/>

関連情報 3 教育ツール



PDFファイルは、京都大学大学院遺伝カウンセラーコースHP「AMED小杉班」 (<http://sph.med.kyoto-u.ac.jp/gccrc/amedkosugi.html>) よりダウンロードできます